

国家に対する神のご計画・第一部

2011年1月26日 アシェル・イントレーター

神がアブラハムに与えた最初の戒めの一つは、彼が世界中のすべての国の祝福となることでした。

創世記 12:3 - 地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。

これはイエシュア(イエス)の御名による救いの福音がすべての国々に述べ伝えられることによって成就しました。これはまた現在、私たちメシアニック・ジューが諸国に対して、とりわけ各国の真の教会に対し祝福となるよう、召命を受けるといふことで成就しています。残念ながら、私たちは諸国に対して祝福を運ぶという役割を成就させることにたびたび失敗してきました。しかし、この召命が成就する時が来ているのです。

神のご計画の中では、個人に対する特別なご計画と、各民族に対する国の特別なご計画があるのです。

ローマ 11:29 - 神の賜物と召命とは変わることがありません。

各人には賜物と召命があります。しかし、この箇所の文脈は国家に対する神のご計画について語っているのであって、個人に対してではありません。この場合、イスラエル国家に対して述べられているのです。しかし、神には各国に対してもご計画があるのです。

ユダヤ人は、国家に対する神のご計画についてはよく知っていますが、個人の救いについてはそうではありません。「私たちは選ばれた民なのだろうか。もちろんだ。」「私は救われているかと？それはどういう意味だ？」クリスチャンはその逆の傾向があります。皆、個人の救いについては知っていますが、国家に対する神のご計画という概念についてはあまり知られていません。

出エジプト 19:5-6 - 今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあつて、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。

イスラエルは型です。イスラエルの国家としての神のご計画は、他の諸国に対する神のご計画のひな型を表します。サウロ(パウロ)がユダヤ人の召命は終わったのかと質問された時、彼は強く「そうではない！」と答えました(ローマ 11:1)。国家の召命は、「救われていない」大多数の人々にあるのではなく、信じる「残りの人々」によって成されるのです。

ローマ 11:5 - それと同じように、今も、恵みの選びによって残された者がいます。

多くの人がイスラエルに対する神のご計画について誤解するのは、彼らが救われていない政治家やラビたちを見ているからです。それに対し、イスラエルに対する国家としての神のご計画の要素は「残りの人々」、すなわちメシアニック・ジューの「残りの人々」によって成されるのです。サウロと共に、私たちは、イスラエルの召命はまだ有効であると言います。それは、イスラエルにはメシアニック・ジューがいるからです。

他の諸国についても同様の事が言えます。中国に対するすでに決められている神のご計画は共産主義政府の中に見いだせるものではありません。中国の真の教会にあるのです。アラブ諸国の中にすばらしい、信仰を持つ「残りの人々」がおり、常にイスラム教徒の隣人から迫害されています。世界中の人々がアメリカ合衆国に対する神のご計画について誤解するのは、彼らがアメリカにいる真の信者たちを見ずに不信仰なエンターテインメントやメディアを見ているからです。

黙示録 7:9 – その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手を持って、御座と小羊との前に立っていた。

黙示録の終わりの時の預言にあるように、終わりの時に真の教会は成就に達します。注意して頂きたいのは、諸国の教会の中で、異なった部族や言語を話す「残りの人々」がいるということです。現代文化は、文化や言語、各民族の民族性の違いを無視する傾向があります。しかし神の目には、これらの差異は信仰を通して調和することによってすばらしい多様性を生むのです。

私たちメシアニック・ジューは国家の文化、言語、そして私たちの信仰のアイデンティティーを保つよう召命を受けています。同様のことが各国の人々にも言えるのです。アフリカの信者たち、インドの信者たち、アラブ人信者たち、スペイン人、日本人、スカンジナビア人など、各国の「残りの人々」はそれぞれの言語、賛美スタイル、霊的な賜物、そして神の御国の啓示があるのです。

(つづく)

レバノンの緊迫化

2005年2月14日、レバノンの穏健なイスラム教徒の選挙区での政治指導者であり、シリア-ヒズボラ同盟に敵対するラフィク・ハリリ氏が、ベイルートの中心地で大規模な爆破攻撃によって、他の22名と共に殺害されました。

2006年11月16日、レバノン人クリスチャン選挙区の政治指導者であり、シリア-ヒズボラ同盟に敵対するピエール・ゲマイエル氏が日中、シリア人とヒズボラのメンバーとして特定された犯人4人によって殺害されました。

レバノンの議会には 128 議席あります。政府は大多数の連合を維持するためには 65 議席必要となります。現在の政府の長はサアド・ハリリ氏であり、ラフィク・ハリリ氏の息子です。

国連はラフィク・ハリリ氏の暗殺の理由について調査を命じました。そのレポートは今月公開されません。ヒズボラの指導者がその暗殺に関与したと特定されるものと思われます。

国連の委員会に反応して、ヒズボラは政府から大臣を召喚し、予想外の動きとして、同じようにドルーズ教指導者のワリッド・ジャンブラット氏(訳注: 対シリア慎重派)を引かせ、政府を転覆させました。サアド・ハリリ氏は再び首相になるために立候補すると述べています。

選挙の前に内戦が勃発するかもしれないという懸念があります。ヒズボラはシリアとイランの支援を得ています。もし彼らが政権を取ることに成功した場合、イスラエルの北部に過激なイスラム政権が支配するレバノンが誕生するのです。どうか、戦争によって引き裂かれたこの国に、神の救いがありますように祈りましょう。

イスラエル人信者たちのためにお祈り下さい

- 新しい信者たち、ヤエル、オリツ、ローザ、ヘドバ、そしてアディナの信仰が立ち上がりますように。
- ナタナエル・ハウスで、続けて伝道の交わりの時がありますように。多くの人々が救われますように。
- ツオン・エル山羊農場とチーズ工場をはじめ、イスラエルの地でメシアニック・ジューが経営しているビジネスの成功のために。
- イスラエル軍で従軍している多くのメシアニック・ジューの兵士たちが、信仰において強くありますように。
- メシアニック・ジューの少年アミエル・オリツを殺そうとしたジャック・テイテルが裁かれますように。